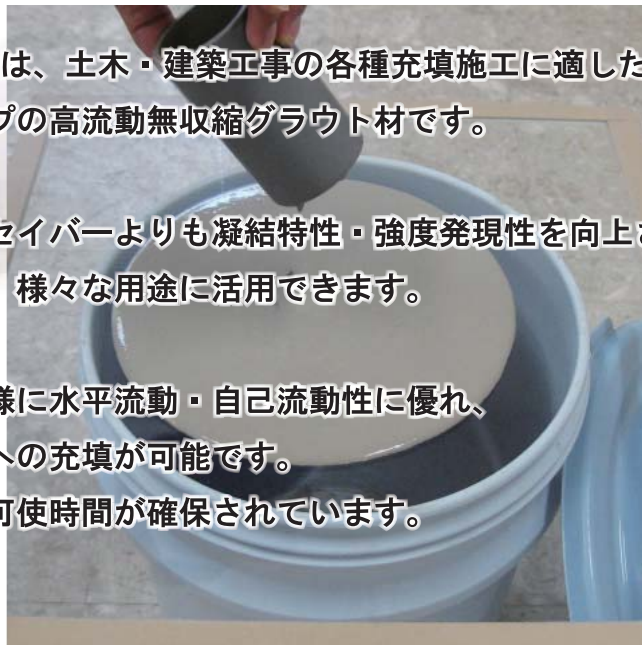


製品の概要

『エッセイバーH』は、土木・建築工事の各種充填施工に適したプレミックスタイプの高流動無収縮グラウト材です。

弊社従来品のエッセイバーよりも凝結特性・強度発現性を向上させ、より汎用性が高く、様々な用途に活用できます。

エッセイバーと同様に水平流動・自己流動性に優れ、5mm程度の間隙への充填が可能です。また2時間程度の可使用時間が確保されています。



製品の特長

- **プレミックス**
荷姿は、紙袋（25kg入）です。
現場では所定量の水と練り混ぜるだけで品質の安定したグラウト材が作れます。
- **流動性・充填性**
フロー値が非常に大きく、水平流動性・自己流動性に優れています。
5mm程度の間隙幅への注入・充填が可能です。
- **無収縮・ノンブリーディング**
適度な膨張を示し、封かん（密閉）状態ならば長期的に無収縮を保ちます。
また適度な粘性があり、ブリーディングや材料分離が発生しません。
施工後の沈下・収縮を防ぎ、構造物との一体化が図れます。
- **施工性**
注入口に制約を受ける場合や打ち下ろしでも施工に支障はありません。
モルタルポンプによる長距離圧送、トレミー工法による水中施工も可能です。
可使用時間（流動性の保持時間）は2時間程度です。
- **高強度・耐久性**
弊社従来品（エッセイバー・エッセイバーG）より水結合材比が小さく、
強度発現性がさらに向上しています。長期的にも強度は増進し、高耐久です。

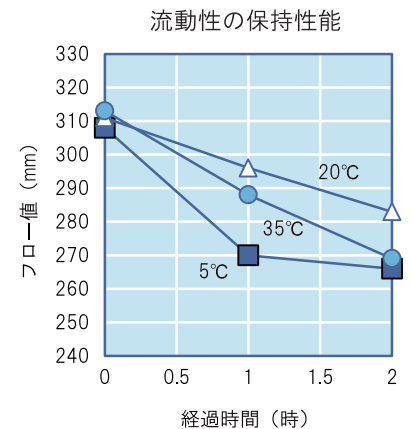
標準配合

	水材料比	練混ぜ水量	プレミックス材	備考
1袋当たり	約34%	4.65kg/袋	25.0kg/袋	練上り量 約13.5L
1m ³ 当たり		345kg/m ³	1850kg/m ³	1m ³ 当たり 約74袋

エッセイバーHの物性値

		5℃	20℃	35℃	試験方法
練混ぜ水量 (kg/袋)		4.9	4.65	4.65	—
単位容積質量 (g/cm ³)		2.16	2.18	2.18	JIS A 1116
フロー値 (mm)		316	315	312	簡易テーブルフロー (φ5×10cm)
凝結時間	終結	18:55	8:50	5:45	JIS R 5201
ブリーディング率 (%)		0.0	0.0	0.0	JSCE-F522
長さ変化率 (%)	28日	—	+0.05	—	JIS A 1129 (封かん状態)
圧縮強度 (N/mm ²)	3日	12.7	32.8	57.8	JSCE-G505
	7日	25.5	47.7	77.2	
	28日	40.8	78.8	84.8	

※上記の物性値は恒温室で試験した測定例であり、性能を保証するものではありません。また改良のため予告なく変更する場合があります。



*簡易テーブルフロー試験

建築改修工事管理指針(下巻)に規定される流動性の評価試験方法。高流動コンクリートのスランブフロー試験に相当する。

使用上の注意

- ◆練混ぜ水量は、1袋(25kg)に対して、4.4～4.9kgです。練混ぜ水には、油・塩類・有機物等を含まない清浄な水を使用して下さい。
- ◆練混ぜには、高速グラウトミキサまたは回転数1000rpm以上の高速ハンドミキサをご使用下さい。
- ◆適切な練混ぜ時間は、3～4分程度です。季節、ミキサの種類によっても流動性が変化しますので、ご使用の際は事前に試験練りを行って適切な水量および練混ぜ時間を確認して下さい。
- ◆冬季に十分な流動性が得られない場合には、練混ぜ水に20～30℃程度の温水を使用して、練り上がりグラウト温度が15℃以上となるように温度調節をして下さい。
- ◆流動性が非常に高いため、施工時は型枠等の隙間を塞いで漏出を防止して下さい(2mm程度の隙間であれば漏出は止まります)。また、グラウトの密度(約2.2g/cm³)による液圧を考慮して、型枠等のタワミを防止して下さい。
- ◆施工後は暴露環境におかれないう適切な養生を行って下さい。圧縮強度用の供試体は、採取直後にラップ等で密封して水分蒸発を防いで下さい。施工直後に著しい乾燥を受けると、痩せやクラックを生じる場合があります。
- ◆外気温が著しく低い場合には、5℃以上となるよう保温養生を行って下さい。

取扱い上の注意

- ・本製品を取り扱う際には、安全データシート(SDS)をお読み下さい。
- ・本製品はセメントを使用しており、水と接触すると強いアルカリ性を示します。長時間皮膚に付けないよう、目や鼻や口に入れないようご注意ください。万一入った場合は直ちによく洗浄し、症状に応じて専門医の診断を受けて下さい。
- ・その他ご不明な点がございましたら弊社までお問い合わせ下さい。

(2015年4月1日改定)

日鉄住金高炉セメント株式会社

東京グループ 〒104-0033 中央区新川1丁目16番14号(アクロス新川ビルアネックス) ☎03-3523-0947～8
 名古屋グループ 〒470-1219 豊田市畷部西町昆布池22番1号(大嶽安城豊田生コン工場内) ☎0565-25-0107
 大阪グループ 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2丁目3番3号(桜橋西ビル) ☎06-6342-5880
 九州グループ 〒812-0025 福岡市博多区店屋町5番18号(博多NSビル) ☎092-283-0311
 本社SL事業部 〒803-0801 北九州市小倉北区西港町16番地 ☎093-563-5118